

平成28年度公立高等学校入学者選抜の実施状況について（概要）

1 出願者の概要（報告書1ページ参照）

項目 \ 年度	28年度	27年度	26年度
中学校卒業者数 (人)	45,414 (-472)	45,886 (-1,660)	47,546 (-419)
出願者総数 (人)	36,927 (-553)	37,480 (-1,658)	39,138 (-892)
第2次募集による合格者を含む合格者数(人)	32,593 (-557)	33,150 (-1,449)	34,599 (-500)
募集人員 (人)	36,990 (-560)	37,550 (-880)	38,430 (-840)
定員充足率	88.1%	88.3%	90.0%

注1 定員充足率(%) = 合格者数 ÷ 募集人員 × 100

注2 ()は前年度対比増減

2 出願者の状況

(1) 一般入学者選抜の実施状況（報告書2ページ参照）

項目 \ 年度	全日制			定時制		
	28年度	27年度	26年度	28年度	27年度	26年度
定員 (人)	34,860 (-480)	35,340 (-800)	36,140 (-720)	2,130 (-80)	2,210 (-80)	2,290 (-120)
第1次受検者総数 (人)	34,623 (-555)	35,178 (-1,415)	36,593 (-1,100)	956 (-19)	975 (-197)	1,172 (+74)
倍率	0.99 (-0.01)	1.00 (-0.01)	1.01 (-0.01)	0.45 (+0.01)	0.44 (-0.07)	0.51 (+0.05)
第1次合格者総数 (人)	31,316 (-430)	31,746 (-1,318)	33,064 (-450)	848 (-79)	927 (-85)	1,012 (-18)

注 ()は前年度対比増減

(2) 推薦入学者選抜の実施状況（報告書5ページ参照）

項目 \ 年度	28年度	27年度	26年度
受検者数（人）	4,894 (+162)	4,732 (-530)	5,262 (-19)
合格者数（人）	4,182 (+4)	4,178 (-190)	4,368 (-124)

注（ ）は前年度対比増減

3 学力検査結果の概要（報告書7ページ参照）

(1) 合格者の総合成績（300点満点）

項目 \ 年度	28年度		27年度	
	標準問題 選択者	学校裁量 問題選択者	標準問題 選択者	学校裁量 問題選択者
全日制合格者の 平均点	152.2 (+2.8)	202.1 (-14.8)	149.4 (-12.2)	216.9 (+0.3)

注（ ）は前年度対比増減

(2) 合格者の教科別平均点（各教科60点満点）

項目 \ 年度	28年度		27年度	
	標準問題 選択者	学校裁量 問題選択者	標準問題 選択者	学校裁量 問題選択者
国語	32.0 (-9.2)	36.0 (-10.7)	41.2 (+2.7)	46.7 (+1.4)
数学	31.6 (+5.2)	35.8 (-1.4)	26.4 (-6.3)	37.2 (-1.4)
英語	33.8 (+2.5)	38.2 (-3.9)	31.3 (-1.7)	42.1 (+2.0)
社会	35.4 (+1.2)		34.2 (±0.0)	
理科	32.8 (+2.8)		30.0 (-4.9)	

注（ ）は前年度対比増減

4 学力検査問題等研究協議会における主な意見について（報告書23ページ参照）

○ 学力検査問題について

- [国語] 思考力・判断力・表現力をみる問題が出題されており、難易度は適切であった。
- [数学] 考察したことを表現させたり、基礎的・基本的な知識や技能を活用させたりする問題の出題について、一層充実させるよう検討してほしい。
- [社会] 中学校における言語活動の成果をみるため、資料等を基に思考したり、知識を活用したりして解く問題の出題を継続してほしい。
- [理科] 生徒の思考力や表現力を問う問題の出題を継続してほしい。
- [英語] 知識を活用する力をみる問題や、自分の考えを表現する問題を更に充実させるよう検討してほしい。
- [学校裁量問題] 3教科とも、今後の学習とのつながりを意図したメッセージ性のある良問であったが、国語においては、問題の分量や難易度について検討してほしい。

5 学力検査問題領域別正答率（報告書32、33ページ参照）

[国語]

指 導 領 域	共 通 問 題	標 準 問 題	学校裁量問題
話すこと・聞くこと	43.7%	—	—
書くこと	8.1%	—	14.5%
読むこと	49.7%	49.9%	14.5%
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	39.0%	64.3%	61.8%

[数学]

指 導 領 域	共 通 問 題	標 準 問 題	学校裁量問題
数と式	57.4%	81.9%	39.3%
図形	36.4%	71.4%	30.0%
関数	51.6%	40.0%	37.8%
資料の活用	63.1%	77.6%	9.0%

[社会]

指 導 領 域	共 通 問 題	
地理的分野	65.0%	
歴史的分野	近代以前	58.0%
	近現代	48.9%
公民的分野	55.4%	
公民的分野	58.1%	

[理科]

指 導 領 域	共 通 問 題
エネルギー（物理的領域）	43.9%
粒子（化学的領域）	53.7%
生命（生物的領域）	59.8%
地球（地学的領域）	58.9%

※ 理科の指導領域は、中学校学習指導要領解説理科編において、科学の基本的な見方や概念の柱として示された「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」に即して分類した。

[英語]

指 導 領 域	共 通 問 題	標 準 問 題	学校裁量問題
聞くこと	69.6%	—	—
話すこと	—	—	—
読むこと	42.9%	72.0%	23.3%
書くこと	23.8%	72.3%	12.3%